

演習 II

科目ナンバリング SEM-302
必修 2単位

大野 貴司

1. 授業の概要(ねらい)

本演習では、「経営戦略論の理論と実践」を研究テーマとして、経営戦略論の基礎理論の習得と理論の応用能力の習得を目指す。具体的には、経営戦略論のテキストの輪読による基礎的な知識の習得と、グループワークによるケース分析により演習における目的の達成を目指す。後期はグループワークによるケース分析による応用能力の習得に比重を置く。最終的には、その研究成果を経済学部ゼミ研究報告会にて報告する。

2. 授業の到達目標

- ① 経営戦略論の基礎的な理論の習得。
- ② 経営戦略論の理論を用いながら実際の企業の経営の説明ができるようになること。
- ③ 経営学領域の基礎～応用的なテキスト、専門書を読みこなせるようになること。
- ④ 企業の経営戦略に関するケースの蓄積
- ⑤ グループワークにより課題に対する答えを導き出せるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

グループワークへの貢献度 50%
2回程度課すプレゼンテーション 50% (1回25%)
で評価する。無断欠席・遅刻は1回2点減点とする。許可なき時のスマホいじりなど取り組み態度が悪い者も都度減点する。
成果物の内容が良くても許可なき場所でスマホいじりをするなど態度の悪い者にはS、Aは出せないので注意すること。

60点以上を合格とする。

4. 教科書・参考文献

教科書

受講者の興味・関心を見て決める。

参考文献

大野貴司 人間性重視の経営戦略論—経営性と人間性の統合を可能とする戦略理論の構築にむけて— ふくろう出版

5. 準備学修の内容

テキストの該当箇所について事前に読み、問題点を整理すること。報告報告者はA4、2～3枚でテキストの内容をまとめておくこと。選定した企業について下調べをするだけでなく、関連する文献を収集し読み込むこと。1人でもできる調査、作業は演習の時間外に行うこと。

6. その他履修上の注意事項

演習時間内で終わらなかった作業は演習時間外で受講者同士が集まり作業を進めておくこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション、ケース分析に関する講義
- 【第2回】 ケース分析に先立つ基礎理論の習得
- 【第3回】 企業の経営戦略のケース分析①(テキスト第1章の輪読と討議)
- 【第4回】 企業の経営戦略のケース分析①(グループで興味のある企業を選定し分析を進める:事例の選定)
- 【第5回】 企業の経営戦略のケース分析②(テキスト第2章の輪読と討議)
- 【第6回】 企業の経営戦略のケース分析②(グループで興味のある企業を選定し分析を進める:業界動向の探索)
- 【第7回】 企業の経営戦略のケース分析③(テキスト第3章の輪読と討議)
- 【第8回】 企業の経営戦略のケース分析③(グループで興味のある企業を選定し分析を進める:企業の戦略のマクロ的側面の探索)
- 【第9回】 企業の経営戦略のケース分析④(テキスト第4章の輪読と討議)
- 【第10回】 企業の経営戦略のケース分析④(グループで興味のある企業を選定し分析を進める:企業の戦略のミクロ的側面の探索)
- 【第11回】 企業の経営戦略のケース分析⑤(テキスト第5章の輪読と討議)
- 【第12回】 グループで選定した企業の分析結果の報告・プレゼンテーション
- 【第13回】 ゼミ研究報告会に向けた準備①(事例部分の精査)
- 【第14回】 ゼミ研究報告会に向けた準備②(理論部分の精査)
- 【第15回】 ゼミ研究報告会に向けた準備③(リハーサル、想定問答への対応)